



北海道ブロック



発行人：支部長 木村 眞司

北海道ブロック支部事務局
(市立美唄病院内)
TEL:0126-63-4171
e-mail:hpca.jimukyoku@gmail.com

ニュースレター No.16 (2017.03)

文責 北海道ブロック支部長 副支部長 小嶋 一 (手稲家庭医療クリニック) kojimah@gmail.com
北海道ブロック支部事務局アドレス hpca.jimukyoku@gmail.com

今年の冬は出足が早く、雪も多いのかと思われましたが気温の高くなるのも早いようです。まだまだ春は見えない北海道ですが、日本専門医機構の動き同様に先の見えないのは辛いものです。早く春の気配が感じられることを願う毎日です。ニュースレターでは支部の情報をわかりやすく、ポイントを絞ってお伝えすることを主眼に作成してまいります。北海道ブロック支部ならではの取り組み、エネルギーの感じられる情報を重点的にお伝えできるように工夫してまいりますので、ぜひご一読いただきますようお願いいたします。今回の注目は「家庭医療・総合診療へのいざない」報告と「第5回北海道地方会」告知です！（小嶋）

<幹事会報告事項>

北海道ブロック支部幹事会：平成29年2月4日土曜日14時～開催されました。主な議題は以下の通りです

- 1.【終了報告】平成28年度北海道プライマリ・ケアフォーラム
- 2.【進捗報告】ウィンターキャンプ in びばい (平成29年3月3～5日)
- 3.【進捗報告】平成29年度北海道地方会 (平成29年6月24日) 基調講演 厚労省医政局地域医療計画課 久米隼人さん
- 4.【進捗報告】サイトビジットとポートフォリオ検討会 (平成29年2月24日 倶知安厚生病院) →次回活動報告
- 5.【報告】共催・後援・補助
 - ・Care Do 北海道2016 とかちは開催中止
 - ・日本訪問リハビリテーション協会学術大会 in 北海道 (平成29年6月3～4日)
- 6.【報告】支部の財政について
 - ・現在ブロック支部会費納入率42% (昨年37%、一昨年57.9%) あった。
- 7.【報告】総合診療専門医制度の諸問題 (日本専門医機構の動き)
- 8.【終了報告】講義「家庭医療・総合診療へのいざない」
 - 講義日時：平成28年12月7日18時から19時20分
 - 場 所：旭川医科大学臨床講堂
 - 参加人数：医学科学生約40名(2年次から6年次まで)
 - 内 容：「家庭医療・総合診療へのいざない」
 - 講 師：竹内優貴(手稲溪仁会病院1年次研修医 旭川医大平成28年卒)、木村 眞司(市立美唄病院)
 - 懇 親 会：同19時半から21時半頃まで
 - 場 所：ハートランド

<今年度の支部関連行事予定>

【平成29年】

- | | | |
|----------------------|--|---------------|
| 3月3日(金)～5日(日) | 第3回北海道地域医療ウィンターキャンプ in 美唄 | 場所：美唄市内 |
| 6月24日(土) 13:30-18:30 | 第5回北海道地方会
(14:00-15:00 ポスター発表の時間) | 場所：かでの2・7 |
| 11月25日(土) | 第5回北海道プライマリ・ケアフォーラム・北海道医学大会プライマリ・ケア分科会第2回学術集会 | 場所：かでの2・7(予定) |

<第5回北海道地方会 一般演題「口演」および「ポスター発表」の募集のお知らせ>

演題は2つの種類を受け付けます。

1) 一般演題（口演のみ）

発表内容に関しては、学術報告（研究形式のもの）、症例報告・活動報告を受け付けます。症例報告・活動報告では、診断や治療に苦慮した事例・教育的な事例に限らず、各職種での事例の報告や地域包括ケアの事例報告、教育やプライマリ・ケア、地域包括ケアなどの実践報告も歓迎します。

2) ポスター発表 「じいんとしたり、グッときた事例や実践のポスター発表会」

今回の地方会では「じいんとしたり、グッときた事例や実践のポスター発表会」と題して、ポスター発表を公募し、事例の経過、振り返りと考察、そこから得た学びをまとめていただき、発表しコメントしあうような場を考えております。従来の一般演題よりも発表時間を長めにとり、発表者も会場の皆さんも学びが深まるような企画を目指しています。専攻医や各職種で作成するポートフォリオの事例を提出していただいても構いません。

例として、以下にテーマを挙げましたが、それ以外でも歓迎します。

- ・ 地域・コミュニティ志向型ケア
- ・ コミュニケーションが困難だった事例
- ・ プロフェッショナルリズムが問題となった事例
- ・ 連携（多職種連携・地域連携・医療機関同士の連携など）に関する事例

*初めての試みとして、ポスター発表をする人が本学会の家庭医療後期研修プログラムの関係者（専攻医または指導医）の場合、発表特権（インセンティブ）として、後期研修プログラム紹介をできることにします。どうぞ奮って応募いただければと思います。

プログラム紹介の方法は以下の2つの方法があります。（併用も可能です。）

- A) 発表したポスターの横にプログラム紹介のポスターを貼ることができます。
スペースの都合上、複数のメンバーが発表しても1プログラムあたり1枚です。プログラム紹介の時間は特別用意しませんが、ポスターで良い取り組みを発表していただくことでプログラムの特徴や魅力が伝わるのではないかと考えております。
- B) 当日のプログラムにプログラム紹介のチラシを折り込むことができます。
各プログラムA4サイズ1枚（裏表印刷可）で、180枚を印刷して、ブロック支部事務局へ送付してください。

*** 発表者の資格**

筆頭演者は日本プライマリ・ケア連合学会会員に限ります。未入会の方は入会手続きをお願いいたします。共同演者はこの限りではありません。なお、登録した住所が北海道の場合、学会会員になると自動的に北海道ブロック支部会員になります。支部会費（医師の場合5,000円、他医療スタッフ3,000円、学生1,000円）の納入も併せてお願いいたします。

（入会手続き等について、詳しくは日本プライマリ・ケア連合学会および同北海道ブロック支部のホームページをご覧ください。）

*** 申し込み方法**

抄録を支部事務局へメールにて平成29年4月17日（月）必着でお送りください。

メールには、代表者氏名、所属、メールアドレスをご記入ください。

抄録（ひな形）につきましては、支部のホームページよりダウンロードできます。

支部事務局：hpcj.jimukyoku@gmail.com

支部HP：http://jpca-hokkaido.jp/

<ご質問・ご要望をお寄せください！>

北海道ブロック支部では支部長・副支部長が毎月一回スカイプ会議を行っています。

副支部長の担当業務は以下の通りです。支部の活動につきご意見・ご質問があればお気軽にお寄せください！

山田副支部長：地方会、サイトビジット・ポートフォリオ検討会、専攻医関連

臺野副支部長：学生関連、支部広報・ウェブサイト関連

木佐副支部長：ミニ地方会、キャンプ、学術

小嶋副支部長：フォーラム、ニュースレター、議事録

日本プライマリ・ケア連合学会 北海道ブロック支部事務局
〒072-0031 北海道美唄市西2条北1丁目1-1 市立美唄病院内 代表電話 0126-63-4171
北海道ブロック支部事務局アドレス hpcj.jimukyoku@gmail.com 担当：高倉・今沢

12/7(水)

18:00~

@臨床講義棟
臨床第3講義室

〔講演会のご案内〕

家庭医療 総合診療への いざない

幅広く診る、
家族を丸ごと診る、
コミュニティを診る。

そんな家庭医療・総合診療の魅力を
2人の講師がお伝えします。

木村 眞司 先生(市立美唄病院)

「家庭医療・総合診療へのいざない」

日本プライマリ・ケア連合学会副理事長
同北海道ブロック支部長

昭和39年9月29日生まれ 52歳 北海道小樽市生まれ

1989年(平成元年) 札幌医科大学医学部医学科卒業
横須賀米海軍病院 インターン
1990年 茅ヶ崎・大和徳洲会病院 研修医
1991年 米国インディアナ州テレホート市ユニオン病院
家庭医療科レジデント
1994年 米国ミネソタ州ミネアポリス市ミネソタ大学病院
老年医学フェロー
1996年 茅ヶ崎徳洲会総合病院(一般内科・老人科)
2000年 札幌医大地域医療総合医学講座(総合診療科)助手
2005年11月 松前町立松前病院 院長
2012年10月 松前町病院事業管理者(院長も兼務)(2016年7月末まで)
2016年9月 市立美唄病院 内科医長



竹内 優貴 先生

(手稲溪仁会病院)

「なぜ家庭医の道を選んだか」

旭川医科大学出身(2016卒)
家庭医療コース 初期研修医

平成3年10月16日生まれ 25歳
北海道札幌市生まれ
3歳から大学卒業まで、旭川で過ごす
2015年12月 USMLE Step1(score243)取得



日本プライマリ・ケア連合学会北海道ブロック支部 第5回北海道地方会

【日時】

平成29年6月24日(土) 13時30分～18時10分

【場所】

かでの2・7(北海道立道民活動センター 札幌市中央区北2条西7丁目)

【参加費】

支部会員 ¥2,000 非支部会員 ¥4,000 学生・研修医 無料

【プログラム】

1. 開会のご挨拶(13:30～13:40)
2. 総会(13:40～14:00)
3. 学術発表(14:00～15:00)
「口演(一般演題)」,「じいんとしたり,グッときた事例や実践のポスター発表会」
※詳細は募集要項をご覧ください。
4. ワークショップ,シンポジウムなど(15:10～16:40)
 - ① ワークショップ1:
旭川医科大学看護学科教授 照井レナ氏監修!
「IPE de IPW ～かかりつけチームになる!～」
 - ② ワークショップ2:
「退院前カンファを変えよう ～LIFE SUPPORT カンファのすすめ～」と題して
健康の社会的決定要因(SDH)についての実践的な知識を学びます!
 - ③ ワークショップ3:
「指導医との上手な付き合い方～隣の芝生は青いのか?プログラムの壁を越えた専攻医
ぶっちゃけディスカッション」
地方会初の専攻医による企画! 北海道内専攻医のオリエンテーションも兼ねています。
 - ④ レクチャー:
人気企画「日常診療アップデート」
関節リウマチ,パーキンソン病,高尿酸血症,逆流性食道炎の4部構成でお送りします。
 - ⑤ レクチャー:
重要トピック「ポリファーマシー」をテーマに3部構成でお送りします!
5. 基調講演(16:55～18:05)
「これからの日本の医療,特にプライマリ・ケアについて(仮題)」
厚生労働省医政局地域医療計画課 久米隼人氏をお招きします!
6. 閉会のご挨拶(18:05～18:10)
7. 懇親会(18:30～)
別会場にて開催する予定です。

多職種でプライマリ・ケアを学ぶことができる貴重な機会です。

非支部会員の皆様も大歓迎!

ふるってご参加下さい!

第5回北海道地方会 実行委員長 山田康介(副支部長, 更別村国民健康保険診療所)